

令和4年度行政事業レビューシート ( 文部科学省 )

文化施設の感染防止等対策事業		担当部局庁	文化庁		作成責任者				
事業開始年度	令和2年度	事業終了(予定)年度	令和4年度	担当課室	企画調整課 寺本恒昌				
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	文化芸術基本法 第14条、第21条、第25条、第26条		関係する 計画、通知等	「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」(令和2年5月25日)					
主要政策・施策	-		主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	新型コロナウイルス感染症の影響により、公演や展覧会等の中止や延期、施設の閉館等を実施した劇場・音楽堂等、博物館等の文化施設に対し、感染症防止対策のガイドラインを踏まえた取組を支援するとともに、コロナ禍における「新たな活動」を支援することによって、地域での多種多様な文化芸術の機会の創出を通じた地域の活性化を図ることを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた劇場・音楽堂等、博物館といった文化施設に対し、発熱者確認のための赤外線カメラや会場の換気を行うための空気清浄機等の感染症予防に必要な物品の確保や、公演再開時の環境整備、大型施設等の一定要件を満たす文化施設の空調設備の改修等を支援する。また、人同士の接触を回避するオンラインチケット・キャッシュレス決済の導入にかかる経費の支援や、映像や音声の配信にかかる機材等の確保、システム等の環境整備を支援する。 (補助率:1/2)								
実施方法	補助								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求			
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	-	-		
		補正予算	-	7,084	2,414	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	4,994	2,533	-		
		翌年度へ繰越し	-	▲ 4,994	▲ 2,519	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
	計	0	2,090	4,889	2,533	0			
	執行額	-	1,671	2,273	-	-			
	執行率 (%)	-	80%	46%	-	-			
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)	#DIV/0!	24%	94%	-	-			
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由					
	文化芸術振興費補助金	0	-	※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。					
	文化芸術振興委託費	0	-						
	委員等旅費	0	-						
	庁費	0	-						
	職員旅費	0	-						
	計	-	-						
活動内容 (アクティビティ)	文化施設の基盤となる博物館や劇場・音楽堂等の文化施設に対し、活動継続・発展等の取組への支援及びウィズコロナを見据えた活動再開・再生に向けた配信等の事業にかかる環境整備を支援。								
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込	
	事業採択件数(感染防止事業、業務再開に伴う環境整備事業、空調設備の改修事業)	事業採択件数(感染防止事業、業務再開に伴う環境整備事業、空調設備の改修事業)	活動実績	件	-	1,362	1,838	-	-
			当初見込み	件	-	800	1,362	1,838	-
単位当たり コスト	算出根拠		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	感染症防止事業・環境整備事業・200万円、空調設備改修事業・1000万円、配信等環境整備事業(配信等支援・400万円、環境整備支援・2000万円)(予算上の上限の補助額)		単位当たり コスト	千円	-	1,201	1,207	1,378	
			計算式	/	-	1,636,266千円÷1362件	2,219,193千円÷1838件	2,532,469千円÷1838件	

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 年度	目標最終年度 4年度
	感染予防対策の実施(劇場・音楽堂)	感染予防対策の実施件数(劇場・音楽堂)		成果実績	件	-	717	1,043
		目標値	件	-	500	717	-	1,043
		達成度	%	-	143	145	-	

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 年度	目標最終年度 4年度
	感染予防対策の実施(博物館)	感染予防対策の実施件数(博物館)		成果実績	件	-	645	795
		目標値	件	-	300	645	-	795
		達成度	%	-	215	123	-	

根拠として用いた統計・データ名(出典)

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	劇場・音楽堂、博物館の文化施設の活動実施に際して、感染症防止対策のガイドラインを踏まえた取組への支援、コロナ禍で必要とされる「新たな活動」に向けた文化施設の配信等の環境整備への支援が必要である。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	劇場・音楽堂等は全国に2000施設以上、博物館は5700施設以上であるとされており(平成30年社会教育調査より)、これらの施設に対し必要な補助を行うことは国としての責務である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	文化施設のコロナ対策を支援し、我が国の文化芸術振興の継続を図ることは、政策目的の達成に資するもので、緊急性・優先度が高い。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	一般競争入札(最低落札方式)を実施し、適切に入札を行い、複数の団体から応募があり、競争性を確保した上で、支出先を選定している。劇場・音楽堂等の選定団体はこれまでも他の官公庁から業務委託を請け負っており、補助金の事務委託業務においても精通している。また、博物館の選定団体は博物館と長年にわたって構築してきたネットワークを有しており、現場の実情を踏まえた、迅速な対応ができるため適当である。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	補助率は、2分の1とする。本事業は受益者にも補助金交付額と同程度の自助努力を求めている。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	補助対象経費の支出に当たっては、一定額以上で相見積を求め等、コスト圧縮に努めている。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	各文化施設のガイドラインを参考に、感染予防対策に真に必要なものを対象としている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	令和2年度第1次補正及び令和2年度第3次補正も実施しており、令和2年度第3次補正分については、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、海外工場の稼働停止し、生産部品、特に半導体の関連の部品の納入が見通しが立たないことや、受注会社での出勤制限等により、工事の延長や停止が発生しており、年度内に計画通りに調達を進めることが難しい状況であることから、繰越しを実施したものの。	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	100万円以上の支出のものは相見積書でコストを確認している。	

事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	新型コロナウイルス感染症対策が必要不可欠な状況下において、劇場・音楽堂等、博物館の文化施設ではウィズコロナ禍での活動継続に向けて動き出している。本事業によって施設の活動支援、コロナ禍で必要とされる「新たな活動」に向けた支援が必要であり、感染対策を補助した文化施設数を設定。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	劇場・音楽堂等は全国に2000施設以上、博物館は5700施設以上であるとされており(平成30年社会教育調査より)、これらの施設に対し必要な補助を行うことは国としての責務であり、コストについても相見積書の提出など削減を実施している。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	令和2年度第1次補正では、執行率82%を実現しており、活動実績数としては達成している。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	補助した文化施設において、ガイドラインに沿った感染症対策を着実に実施している。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-
	事業番号		事業名	
点検・改善結果	点検結果	約1,800件の文化施設を採択し、新型コロナウイルス感染症対策として、必要な支援を実施することができた。		
	改善の方向性	新型コロナウイルス感染症対策のニーズや各感染対策の普及状況を的確にとらえ、必要に応じ改善に努める。		

外部有識者の所見

外部有識者による点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

終了  
予定

当初計画通り令和4年度をもって完了することとしている。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

予定  
終了  
通り

当初計画に基づき、令和4年度をもって予定通り終了。

備考

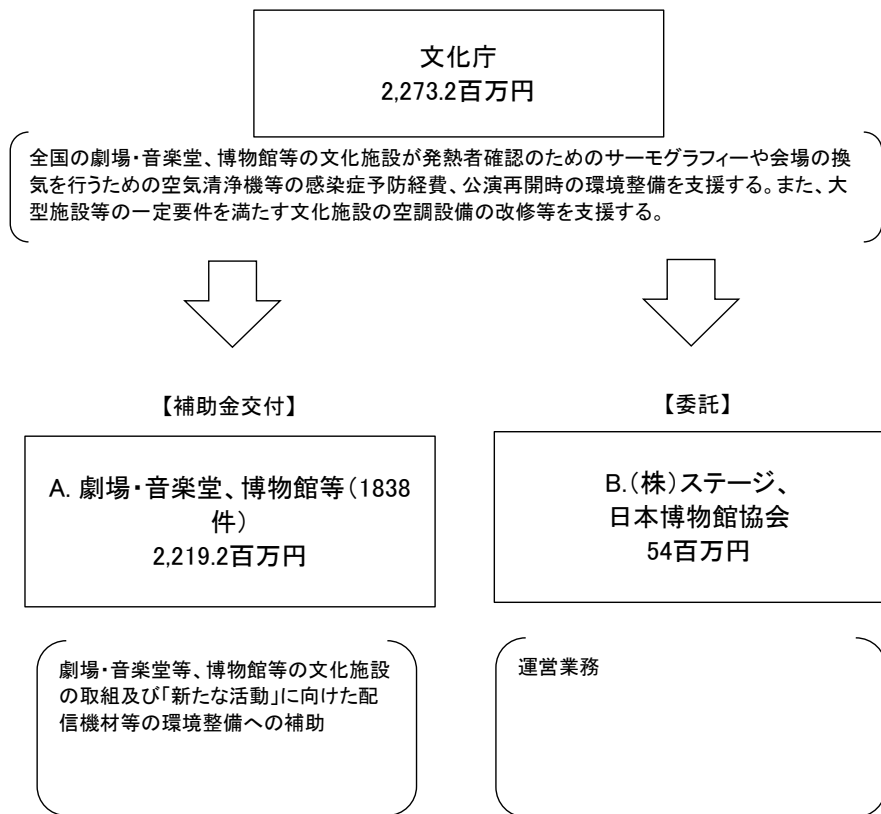
関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度				
平成24年度				
平成25年度				
平成26年度				
平成27年度				
平成28年度				
平成29年度				
平成30年度				
令和元年度				
令和2年度	文部科学省	新02	0025	
令和3年度	2021	文科	20	0365

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)



費目・使途  
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で事情が

A.梅野記念絵画館・ふれあい館			B.(株)ステージ		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金	梅野記念絵画館・ふれあい館感染症防止対策事業	12	委託費	文化施設【劇場・音楽堂分】の感染症防止対策支援事業運営にかかる経費	29.9
計		12	計		29.9

### 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	長野県	1000020200000	梅野記念絵画館・ふれあい館感染症防止対策事業	12	補助金等交付	-	-	
2	京都市	2000020261009	京都市青少年科学センター感染症防止対策事業	12	補助金等交付	-	-	
3	新潟県	5000020150002	糸魚川フォッサマグナミュージアム感染症防止対策事業	12	補助金等交付	-	-	
4	飯島町	6000020203840	飯島町文化館感染症防止対策事業	12	補助金等交付	-	-	
5	株式会社キョードーマネージメントシステムズ	3120001110320	森ノ宮ピロティホール感染症防止対策事業	11	補助金等交付	-	-	
6	山形県 高畠町	1000020063819	高畠町文化ホール感染症防止対策事業	11	補助金等交付	-	-	
7	久慈市	4000020032077	久慈市文化会館感染症防止対策事業	11	補助金等交付	-	-	
8	公益財団法人 愛知県文化振興事業団	2180005014554	愛知芸術文化センター感染症防止対策事業	11	補助金等交付	-	-	
9	富山県	7000020160008	魚津埋没林博物館感染症防止対策事業	11	補助金等交付	-	-	
10	鹿児島県	8000020460001	鹿児島県歴史・美術センター黎明館	11	補助金等交付	-	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社ステージ	3013301015869	令和2年度「文化施設の感染拡大予防・活動支援環境整備事業」運營業務【劇場・音楽堂分】	30	随意契約 (その他)	2	-	
2	公益財団法人日本博物館協会	6010005004188	令和2年度「文化施設の感染拡大予防・活動支援環境整備事業」運營業務【博物館分】	24	随意契約 (その他)	1	-	令和2年5月4日、5月15日の改正基本的対処方針からも、文化施設の再開を現実的なものとして検討進められ、再開にあたっての感染症対策を充実し、早期に進められることが必要不可欠となっており、本事業の事務局は、劇場・音楽堂等や博物館の現状を深く理解し、感染対策としての知見も有した団体が適当であるため

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		-	-	-	-		-	-	